

保育園の自己評価を終えて

より良い保育に繋げていくために厚生労働省発行の「自己評価ガイドライン」に沿って毎年保育園の自己評価を行っています。今年度も着眼点一つひとつについて自分たちが行っている保育を見直すかたちで職員とともに自己評価を行いました。

毎年評価を行うことで職員には保育園を運営している一人として着眼点を意識できるようになってきたと思います。意識できる職員が増えてきたことで少しずつ評価に繋がられるようにしていくことが今後の課題だと思います。また、昨年は人材育成も目標の一つに掲げており、個々の自己評価等も行いました。それぞれの経験に応じて職員一人が求められている職責や職務内容も明確化されましたが、きちんと把握できるような面談や話し合う機会が十分に取れなかった点が評価の一部に反映されていると認識しています。次年度はその点に力を入れることで職員一人ひとりの質のUP、また、職員同士がお互いを信頼し思いやる気持ちを大切に、全体的に保育の力をあげていきたいと思っています。

また、今後ご協力いただいている保護者アンケートで、保護者のニーズ等も把握しつつ、園として改善していかなければならない点を見つけ、保護者の皆様から信頼される保育園の運営をしていきたいと思っています。

横浜みなとみらい保育園 園長 木下かおり